

■ ===== 2013/6/ ===== ■

◆◆ 建設トップランナー倶楽部 通信 41 号 ◆◆

■ ===== ■

建設トップランナーフォーラム開催間近

7月2日（火）に建設トップランナーフォーラムを開催します。
当日はネットでライブ中継します。是非ご覧下さい。

<http://www.kentop.org/>

今年は「インフラの町医者をめざして」をテーマに

- ・ 地域防災の最前線としての地域建設業
 - ・ 老朽化する社会インフラを守る地域建設業
 - ・ 複業で公共投資を産業創出につなげる地域建設業
- を実践している全国の地域建設業の経営者が発表します。

プログラム⇒ <http://www.kentop.org/>

太田国交大臣、林農水大臣、古屋防災担当大臣をはじめ、多くのご来賓をお迎えします。

自立心を持ち挑戦する素晴らしい発表者が揃っています。

地域建設業の貴重な情報発信と交流の場となっております。

懇親会には関係省庁をはじめ多数の来賓が出席されます。

皆様のご参加をお待ちしております。

フォーラムの申込はホームページからお願いします。（残席少し）

<http://www.kentop.org/>

建設トップランナー倶楽部代表幹事

慶応大学 特任教授 米田雅子

=====

《内 容》

- 【 1 】 建設トップランナーフォーラム開催
- 【 2 】 調査基準価格引き上げ 一般管理費等を55%
- 【 3 】 11年ぶりに1兆円超え 東日保証4月の実績
- 【 4 】 標準見積書活用へ団体に説明 保険未加入対策
- 【 5 】 被災地のダンプ不足を不安視 施工確保協議会
- 【 6 】 検討会議を立ち上げ 建設産業政策と入契制度
- 【 7 】 非構造部材の調査開始 自治体に依頼 国交省
- 【 8 】 社会資本の維持で中間答申「国民の理解必要」
- 【 9 】 専門工事業を3段階で評価 保険加入認証制度

【 10 】 愛亀の連携化研修 建設トップランナー倶楽部

【 11 】 社会資本整備基本方針 老朽化に方向性 政府

【 1 】 建設トップランナーフォーラム開催

□建設トップランナー倶楽部（和田章代表幹事、米田雅子代表幹事）は7月2日、第8回建設トップランナーフォーラムを日本建築学会建築会館ホール（東京都港区）で開く。太田昭宏国土交通大臣、林芳正農林水産大臣、古屋圭司内閣府特命担当大臣（国土強靱化、防災担当）を来賓に迎えるほか、「インフラの町医者をめざして」をテーマに、全国から地域建設企業の気鋭のリーダー12者の取り組みが事例発表される。また、パネルディスカッションには、古田肇岐阜県知事、大石久和国土技術研究センター理事長らがパネラーとして参加。今回のテーマである「インフラの町医者」としての地域建設企業の役割を掘り下げる。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2HI@C01U790.asp>

【 2 】 調査基準価格引き上げ 一般管理費等を55%

□国土交通省は14日、直轄工事の低入札価格調査基準価格を引き上げることを決めた。調査基準価格の計算式のうち、企業の本支店での必要経費などで構成する「一般管理費等」の算入率を現行の30%から55%に引き上げる。同省では、算入率の引き上げで、これまで約86%だった調査基準価格の平均値が2%程度上昇すると試算している。16日の入札公告分から新たな算入率を適用する。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1FIC001U790.asp>

【 3 】 11年ぶりに1兆円超え 東日保証4月の実績

□東日本建設業保証が2013年4月に取り扱った前払金保証（件数・請負金額）は1万0670件・1兆0217億円で、前年同月に比べ件数で29.9%、請負金額で39.9%のそれぞれ大幅増だった。いずれも過去10年間で最大となっており、とりわけ請負金額の1兆円超えは02年4月以来11年ぶり。工事場所別の全地区や、請負金額別と資本金別の各階層で件数・請負金額とも前年同月を上回っていることなどから、12年度補正予算の執行が前払金保証の実績にも表れてきたとみられる。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1FIQR01U790.asp>

【 4 】標準見積書活用へ団体に説明 保険未加入対策

□国土交通省は16日、専門工事業団体を集め、標準見積書の活用に向けた説明会を開いた。この説明会は、社会保険未加入対策の一環で行う法定福利費の内訳を明示した標準見積書の一斉提出に向け、標準見積書を修正する際の課題を関係者間で共有するために開催。国交省はこの中で、6月20日までに修正した標準見積書を提出するよう各団体に依頼した。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1GMDf2U2AXD.asp>

【 5 】被災地のダンプ不足を不安視 施工確保協議会

□国土交通省は22日、東日本大震災の復旧・復興工事の円滑な施工について話し合う「復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会」の6回目の会合を開いた。この中で同省は、高台移転などを行う「防災集団移転促進事業」の発注が本格化することなどに伴い、土砂運搬などを担うダンプカー不足が懸念されると報告。全日本トラック協会では、運送事業者が車庫や宿泊所を自前で確保するなど、対策の必要性を訴えた。このほか、災害公営住宅の建設が2013年度後半からピークを迎えることから、関係者による情報連絡会を設置することも報告した。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1NI7X01U790.asp>

【 6 】検討会議を立ち上げ 建設産業政策と入契制度

□国土交通省は、今後の建設産業政策と公共調達の方針を話し合う「地域の建設産業及び入札契約制度の在り方検討会議」（議長・鶴保庸介副国交相）を設置し、きょう28日に初会合を開くと発表した。建設投資の減少やダンピング受注の増加などを要因とする建設産業の疲弊で、技術者や技能労働者不足が顕著になっている一方、老朽化対策など地域における産業の役割は高まっている。検討会議では、こうしたニーズに応えることができる産業政策の在り方や、地域の建設企業を育成する入札契約制度の方針について意見を交わす。検討会議は、鶴保副国交相と松下新平大臣政務官のほか、佐藤直良事務次官、菊川滋技監、佐々木基土地・建設産業局長、日原洋文建設流通政策審議官ら、省内の幹部級で構成する。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1TICjXDRBPU.asp>

【 7 】非構造部材の調査開始 自治体に依頼 国交省

□国土交通省は、非構造部材の落下などによる重大被害の再発防止を図る目的で、東日本大震災における建築物の被害状況を調査するよう、24日付けで都道府県に依頼した。天井落下や外装・内装材だけでなく、建築設備（空調機器、照明機器など）の被害状況についても調査・報告するよう求めている。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A1TIDj01U79O.asp>

【 8 】社会資本の維持で中間答申「国民の理解必要」

□国土交通省の社会資本整備審議会・交通政策審議会で検討していた今後の社会資本の維持管理・更新の在り方を示した中間答申がまとまり、社整審の福岡捷二会長と家田仁技術部会長が太田昭宏国交相に答申を手渡した。中間答申を検討した社会資本メンテナンス戦略小委員会の委員長も務めた家田部会長は太田国交相との会談後に会見を開き「社会資本の維持管理・更新は、財政状況や時代の風潮に影響されず、営々と進めることが重要。国民の理解と支援が要になる」と訴えた。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A23LQ42H2U2A.asp>

【 9 】専門工事業を3段階で評価 保険加入認証制度

□国土交通省は、社会保険加入の促進に取り組む専門工事業に対する優良事業者認証制度の大枠を固めた。制度は、専門工事業団体を認証の実施機関とし、各団体が自主的に社会保険加入に取り組む専門工事業者を認証する仕組みを想定。3保険（雇用保険、健康保険、年金保険）に企業単位で加入する事業者を「取組推進事業者」、直接雇用する全ての労働者が加入する事業者を「適格事業者」とし、見積書に法定福利費を内訳明示するなどさらに優良な取り組みを行う事業者を「優良事業者」として認証する仕組みを想定している。

優良事業者認証制度は、社会保険の加入状況に関する確認作業の簡便化、建設業者自らの保険加入に向けた取り組みを推奨するなどの目的で国交省が検討しているもの。学識経験者らによる「社会保険等の加入促進方策検討委員会」（座長・佐藤博樹東京大学大学院教授）で、認証の基準などを議論してきた。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A24I@d01U79O.asp>

【 10 】愛亀の連携化研修 建設トップランナー倶楽部

□建設トップランナー倶楽部（和田章代表幹事、米田雅子代表幹事）は5月31日から6月2日までの3日間、愛媛県松山市で視察研修会を開催した。初日に愛亀（あいき）松山事業本部で行われた研修には約50人が参加し、9社13事業部による同社の地域での連携化・複業化の取り組みが紹介された。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A24I9CXDRBPU.asp>

【 11 】社会資本整備基本方針 老朽化に方向性 政府

□政府は6日に開いた経済財政諮問会議で、今後の経済財政運営や2014年度予算編成の方向性を「骨太方針（仮称）素案」として提示した。社会資本をめぐる防災・減災対策、老朽化対策、民間資金の活用などの課題に対応するため、新たな社会資本整備の基本方針を策定することも明記。選択と集中の徹底、民間資金の活用、維持管理技術の開発促進などについても、それぞれの方向性を明確にする考えを示した。政府はこの骨太方針に基づき、今夏に中期財政計画と14年度の概算要求基準を策定する。

<http://www.senmonshi.com/archive/01/01A2@IXX01U790.asp>

* 配信停止を希望される方、アドレス変更は、当メールへの返信でお知らせ下さい

建設トップランナー倶楽部

事務局 大里茂登子、田中清子

mail:ohsato@kentop.org

<http://www.kentop.org/>

〒113-00023

東京都文京区向丘1-5-4 ワイヒルズ2階

米田事務所

TEL 03-5876-8461 FAX 03-5876-8463
